



↑ 会報QRコード

くろつち便り

今月の内容

軍事基地化反対(9~10月)／金曜集会に若人(10/3)／野草折々79(ヒガッパ)／GG大会(10/5)／学校現場から③④／共助会講演会(8/19)／大椿講演会(10/4)／独り言④⑤

次回金曜集会は11/7日/17:00

くろつち会GG大会

好天気今年のGG大会。
松尾会長の大会の挨拶

今年は参加人数が21名と少なく、優勝のチャンスがあるかもしれません。



飯山さん、左手のボール、第1回優勝時の景品の話を交えながら大会ルールの説明です。



昨年の優勝者、折田さんから杯の返還。

8時45分、高レベルの競技開始。

始まるとすぐに、「おおっ、入るぞ、入るぞ」「ああっ、コースから外れていく」などの声が会場に響き渡りました。和気藹々の中、ゲーム終了。

11時、次々にこの日の結果が表に書かれていくと「これは高レベルだなあ」「ホールインワンがないと優勝は難しいなあ」などの声が聞こえます。結果は右の通りです。

優勝者は経

験豊かな中之浦さんでした。2014年以降で4回目です。



山口家ではこの日は祝宴を開いたかも知れない。

閉会後の片付けの最中、置き忘れを発見。優勝者と同じ打数だったのにという不満があったわけではないでしょうが、何と準優勝の景品だ。森さんらしくて笑みの眉が開きました。

結果次の通り。(敬称略)

優勝 中之浦慶二 35打
準優勝 森轄隆 35打
3位 山口正徳 38打
4位 山口伸也 38打
5位 山口玲子 39打
BB賞 上山光子 56打
ホールインワン賞
中之浦慶二、森轄隆
迫睦子、折田美雪
山口正徳、山口玲子
(くろつち会ルールで、打数が同じときは、ホールインワンの数、それも同じなら2打の数、年齢などで決定する)

かごしま九条の会講演会

講師 小澤隆一さん 憲法学
「参院選の結果と今後の改憲をめぐる情勢／日本学術会議解体問題にも触れながら」
11月3日(祝)14時~16時半
会場：自治会館401号
参加料 無料/オンライン可
k-9jo@kagoshima-min.jp

と職員室に集まってチャ

10月の中旬以降に実施したりする学校も増えて

学年現場から
シリーズ
国見小 関下俊郎
2学期
が始まっ
てあつと
いう間に1ヶ月が過ぎ
た。例年2学期はスター
トと同時に運動会に向
けて練習が始まるので
慌たらしい日々が続く。
しかし、私にとって今
年はこれまでとは違っ
たスタートとなった。
それは、本校が1学期
のうちに運動会を済ま
せていたからである。
近年暑さ対策で運動会
を1学期に実施したり、
10月の中旬以降に実施
したりする学校も増え
ているようだが、それ
にしても運動会がない
だけでこれほど穏やか
な気分がスタートでき
るとは、私にとっても
初めての経験だ。業務
にもゆとりができると
定時退庁も十分可能で
ある。退庁時間が近づ
くと職員が1人2人：

か、お願いします。」
と言うことで、3年生
6年生(33人)までの
合同授業参観となった。
内容は、夏休み中に実
施したフィールドワー
クで収めた戦争遺跡の
写真や映像を使った学
習である。久しぶりに

尋ねられたので、「平
和学習をする予定です
よ。」：少し間をおい
て、「合同でやりませ
うか？」と言いつつ
うちに、「いいです
か、お願いします。」
と言うことで、3年生
6年生(33人)までの
合同授業参観となっ
た。内容は、夏休み
中に実施したフィール
ドワークで収めた戦
争遺跡の写真や映像
を使った学習である。
久しぶりに

臨時任用教員：パート5
授業と同時に「お疲れ
様でした。」と帰って
いく。少しでも油断(う
)をしようものならみ
ないなくなってしまう。
そんな現場をこれまで
経験したことがないの
で、今では退庁時刻が
近づくと少し焦る今日
この頃である。

「戦後80年」の今年、
節目として意識させる
だけではなく、日ごと
から平和への意識を高
めさせる実践に心が
ける、それも大事な役
目なのだろう。

高いと感じることだ。
私の話を真剣な眼差
しで聞きながらうなず
いたり、授業後の感想
を寄せられたりする。
「戦後80年」の今年、
節目として意識させる
だけではなく、日ごと
から平和への意識を高
めさせる実践に心が
ける、それも大事な役
目なのだろう。

教室いっぱいの子ど
もたちと保護者を前に
「今日は、私の夏休
みの社会科自由研究の
発表をします。」と言
って始めた授業。「な
ぜ大隅半島に多くの戦
争遺跡が残されている
だろう？」というテ
ーマを写真と映像をも
とに語りながら考え
させた。授業参観に合
わせて行う平和学習も
今年で何回目だろう？
毎回思うことは、子
どもたちより保護者の
関心が高いと感じる
ことだ。私の話を真
剣な眼差しで聞き
ながらうなずいたり
、授業後の感想を
寄せられたりする。
「戦後80年」の今
年、節目として意
識させるだけでなく
、日ごとから平和
への意識を高めさ
せる実践に心がけ
る、それも大事な
役目なのだろう。

第21回共助会教育講演会

森吉里奈講演会を終えて

8月19日、リナシティホールで教職員共助会大隅地区運営委員会・実行委員会主催の教育講演会を開催いたしました。今回は「こどもたちの心の育ちを支える」の演題で第一幼児教育短期大学の臨床心理士でスクールカウンセラー森吉里奈さんに講演を依頼しました。

講演内容は、子どもたちを取り巻く「今」として①生活習慣の崩壊、SNS・ゲームの影響の大きさ ②「気持ち」がわからない・言えない・コミュニケーション下手 ③人との絆の弱さ④自死数の高止まり・性的問題行動の増加。そして、気になる児童・生徒の増加。授業中の姿として、わかる内容・楽しい時には学習に取り組むが、興味のないことはしない。聞き逃しが多い。「何とかしよう、努力しよう」と考えない。すぐあきらめる。ふてくされる。暴言を吐く。これらは愛着（愛着とは甘えや愛情と同義ではなく、不安感情の調整を中心機能とする

絆）の課題かも。誰がこの子どもの愛着対象となり、安心安全基地を形成していくのか。

「常に一緒に」いなくても、「その子のことを一番知っている人」になること。「〇〇と一緒に…」という言葉が愛着形成の「魔法の言葉」。愛着の課題がある場合、根底には不安や恐怖があるので「制止」が本人にとっては危機的状況になる。叱責や罰はNG。

「いま・ここ」での出来事ではなく、しばしば「過去・家庭」での体験に反応している。暴れたり大人にくっつくかかると子は、「怖がっている」と考えてみる。子どもの「求め」に気づき、応じていくこと。

「聴く」「観る」「感受性を使う」ことが大切。などなど。

参加者からはたくさんの感想をいただきました。「一番聴きたかった愛着障害について、お話が聴けてうれしかったです。二学期からの子どもへの対応、今日のことを基に子どもに接していこうと思います。」「感情の封じ込めで、言葉・感情を考えず、しつけ面だけをグチグチ言ってしまうっていたなあ…と事

例を通してハッ！とさせられました。」

などなど現職の皆さんほとんどが、子どもたちへの接し方について、その行動の背景について気づかされた講演会であったようです。

講師から「今回、自分のこれまでとこれからを振り返る貴重な機会になりました。教育臨床はなまもので、刻々と課題が移り変わっていきます。常に現場に添いながら、少しでも先生方のエンパワメントにつながり、且つ、こども・保護者のお役に立てることをこれからも実行していけたらと思います。アンケートを拝読し、うれしい感想も多く、私自身が励まされた気持ちです。大切に保管したいと思います。」というメールが届きました。

当日の参加者は131名でそのうち約半数が小学校の先生方でした。

（共助会大隅地区肝属ブロック事務局 矢野務）



共助会今後の予定

◇10月24日(金)

ボーリング大会

会場 笠之原ボーリング場
申込順です。申込数が多い場合は申込を打ち切られます。

◇12月21日(日) 料理教室

講師 宮地直子さん

内容 冬を乗り切るビタミンたっぷりメニュー

会場 東地区学習センター

調理室 定員 20名

会費 300円

◇2月15日(日)

グラウンドゴルフ大会

会場 かのやGG場

昨年は現職も数名、その中にはGGデビューの方もおられて、くろつちとも打ち解けて、最後は記念撮影まで。



野草折々-79-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)



秋の彼岸ごろ咲きます。

毒性が強く、モグラなどの被害から守るため田んぼの畦などに植えられた。

2025年9月23日 名貫

市長からの回答

10月2日、前月の日米共同訓練開始前日(9/10)に、それに反対する申入書を市長宛に提出していた(3頁参照)。それへの回答が訓練が終わってずいぶん経ってから市役所別館であった。市側の出席は副市長、企画推進課長など4名、住民側は20名ほど。またしてもこの場に市長はいない。

国に反対の意思表示をしてもらいたいがこの件に関しては「『国際社会』における国家としての存立にかかわる事項」は国の専権事項だということで、

「安全に実施してほしい」と要望するに留まっているという。こちら側も「国の専権事項」ということは不承知ながらも知っているが、敢えて申し入れしているのに、一步踏み出した回答はなかった。

訓練計画の説明が住民になされていない問題については、近隣20?地区住民の代表を集めて説明しています、またホームページでも公表しています、という。代表が自分の地区でどういう説明をしたのか、ただ文書で示したのか分からない、少なくとも全市民ではない。ホームページを日常活用している人が、この人口過疎で高齢化率の高い鹿屋市にどれだ

けいるのか、恐らく市側も把握していないだろうと思う。

この日の申し入れは、どういう形で広報に載せるのか、或いは掲載しないのか。新市長はどのような姿勢なのか今後を見守りたい。



お悔やみ申し上げます

最近永眠された方のご芳名です。
中馬英樹様 8月31日 81歳
謹んでご冥福をお祈り致します。

大椿ゆうこ講演会



10月4日(土)、表記の講演会があった。先の参院選で落選してしまった敗因の一つでこれまで鹿児島は3%得票できたが今回は2.5%止まりだったことも例に挙げながら、社民党は世間からどう見られているか、魅力ある社民党の構築を今後考えていく話もされました。Youtubeを見られる方

は例えば「5月16日参議院特別委員会 大椿」で検索すれば、その活躍の程が分かります。

これまでご本人がどんな仕事をしてきたのか話されたが、色んな案件に関わっておられること、また元気のあられる方だなあと感心し、落としたことに対して残念な気持ちになった。ガンバレ社民党!



金曜集會に若人が

10月3日(金)金曜集會、今月からは17時からだ。20名ほどが集結した。



オオツ! 米良さんこの日のアイデア賞だ。百均で購入の団扇で手作りのミニプラカード。これは目立つ。手を振っている人がいる、というので向こうで信号待ちの運転手に手を振ると、向こうも手を振って返してくれた。団

扇プラカードが目にとまったんだろう。

もう一つ嬉しいこと、現職で久しぶりに参加してくれた人もいた。更にもう一つ嬉しいこと、初めて参加してくれた若い女性です。

初めまして、Sと言います。この物価高。この世の中どこかおかしいなあと感じています。平和を守りたいという気持ちは皆さんと一緒です。これからも参加させていただきます。



こういう若者が増えて、この集會の輪が広がってくださることを期待します。

くろつち旅行&作品展、学習会&忘年会

くろつち旅行&作品展

数年ぶりにくろつち旅行を実現しようと係の立切さん、皆さんの意見を採り上げつつ東奔西走旅行会社に当たり、ご苦労なさって計画を立てま

したが、残念ながら参加希望が15名に満たず計画は没になってしまいました。立切さんには本当に申し訳ないです。来年は作品展です。来たる日に備えて作品を温めておい

学習会&忘年会

早いものでもうこんな時期なんですね。11月29日、この日は他の予定を入れないようにお願いします。詳しい予定は別紙で。

